

自主防火チェック表

Ver.2

チェック	露店等の設営について
1	避難通路や防火水槽・消火栓などの消防水利の妨げになる場所には設営しない
2	強風等で屋台・テントが倒壊・飛散しないように固定する
3	隣り合う露店等は必要十分な間隔を開ける（間隔を開けることができない場合は、対象火気器具等の位置、燃料や可燃物の位置、ガス等が滞留しない措置、初期消火の準備など火災予防措置を十分に講じること）
4	消火器など必要な消火準備をする
5	電源は送電電気を使用する（送電電気が使用できない場合で、止むを得ず携帯発電機を使用する場合は、3(1)及び(2)をチェックして下さい）

チェック	火気器具等（LP ガスなどを利用）の使用について
1	ボンベは、火気から離れた直射日光の当たらない通気性のよい場所に準備する
2	ボンベは、安定した場所で容易に転倒しない場所に準備するとともに、観客等がみだりに近づかないように区画する
3	ゴムホースは適正な長さで、ひび割れなど劣化のない専用のものを使用する
4	火気使用器具とホースの接続は確実に行い、ホースバンドで固定する
5	電気器具を使用する場合は、たこ足配線や劣化したプラグや配線の使用を避け、雨水等の水がかからないような措置をとる
6	火気使用器具の近くには、可燃性の物品を置かない
7	安定した不燃性の床上、台上で使用する

チェック	ガソリン等の保管、取り扱いに関して
保管、取り扱いの一般的注意事項	
1	ガソリン等の保管又は取り扱い場所では、みだりに火気を使用しない
2	容器は消防法令に適合した金属製容器を使用し、キャップを確実に締める
3	容器は火気や高温部から離れた、直射日光の当たらない通気性の良い床面で保管する
4	ガソリン等を保管又は取り扱う場合は、観客等から安全な距離をとる
5	容器の蓋を開ける前は、圧力弁等进行操作する（圧抜きを行う）
携帯発電機の使用	
1	事前に燃料を必要十分に給油し、露店等の開設後に給油の必要性が極力ないようにする
2	ガスが滞留しやすい場所で使用しない
3	発電機の運転中に給油や移動をしない
4	やむを得ず給油が必要となったときは、風通しがよく、可燃性のガスが滞留するおそれのない場所で、周囲に観客等がいらないこと及び火気の使用がないことを確認したうえで給油を行うこと

安全安心な催しの開催のため